

全労金2019春季生活闘争ニュース・第30号

《合意速報No.12》

東北労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

東北労組は、3月27日9時30分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求（金庫）						回 答（金庫）						
	正職員	契約職員			個別 契約職員	契約職員 再雇用者	正職員	契約職員			個別 契約職員	契約職員 再雇用者	
		S	PCA	J				S	PCA	J			
基本賃金	職能2等級以上 2,000円の引き上げ	4,000円の引き上げ			4,000円 時間額50 円	職能2等級以上 役割給2,000円	2,000円			要求通り 4,000円 時間額50円			
一時金	4.5	4.5	2.7~3.6	1.0	契約職員 と同月数	—	4.5	4.5	2.2~3.1	40,000	1.8	—	
昨年実績	4.5	4.5	1.7~2.6	40,000	1.3	—	4.5	4.5	1.7~2.6	40,000	1.3	—	
安定雇用	無期転換 登用制度	(実現)				—	(実現)					—	
		(実現)				—	(実現)					—	
最低賃金	時間額1,000円、日額7,330円 月額154,000円への引き上げ					要求通り 時間額1,000円、日額7,330円、月額154,000円							
雇用環境	ジョブターン	(2019年4月からの導入を予定)				—	(2019年4月からの導入を予定)					—	
	年休積立	(実現)				—	(実現)					—	
	私傷病休職	—	(実現)				—	(実現)					—
公正処遇	年休	(実現)				—	(実現)					—	
	生休	—	(実現)				—	(実現)					—
	母性保護	(実現)				—	(実現)					—	
単組独自要求	—					—							

団体交渉において、金庫からは「金庫の経営状況や経営に関する考え方を含めた回答の真意を理解いただき、金庫の思いを受け止めてほしい。3月25日現在、総預金増加額は673億、総融資増加額は521億となっており、目標は達成する見込みであり、融資は統合以来の最高増加額となっている。これはひとえに職員が一丸となり、目標達成に向けて奮闘した結果であると認識している。しかし、預金は6割が金利上乘せ商品、融資は8割が有担保ローンであり、役務取引は目標達成とはなっておらず、量から質への転換、持続可能なビジネスモデルの確立には至っていない。東北地方は、今後人口減少、過疎化、金融低迷と厳しい経営環境が待ち構えている。収益の確保、収益構造の改革が必要であり、景気に左右されない経営体質を作っていきたい。回答については、今年度の事業計画達成のために奮闘された職員への頑張りと次年度における職員のより一層の飛躍に期待するものであり、金庫としても相当な覚悟を持って原資を持出した精一杯の内容である。また、賃金等の処遇改善のみならず、働きやすい職場環境の構築、職場風土改革やハラスメント対策も喫緊の課題であると認識しており、引き続き労使で進めていきたい」等の見解が表明されました。

松崎闘争委員長は、「要求提出以降、職場実態や働くことへの思い、生活実態をもとに取りまとめた要求に対して、春闘交渉を通じて労使間で共有が図られたことは、この間の労使交渉の成果であり、我々の要求を真摯に受け止め、交渉を継続してきた営みに対して感謝申し上げます。今春闘の最大の争点は、私たちの職場実態や生活の実態に基づく総合的な生活改善、底上げ・底支え、格差是正、公平・公正な処遇の実現である。本日晒された回答は、厳しい経営環境の中、最低賃金を始めとした正職員・契約職員の賃金・一時金の改善を含め、要求全般に対して応えようとする姿勢は、金庫として、この間の職員・組合員の奮闘・頑張りをしっかりと受け止めているものと判断している。しかし、契約職員に係る要求については、主旨に理解を示しているものの合意に至る内容とはなっていない。積み上げてきた交渉の中で、契約職員の働き方と役割、処遇を、同一労働同一賃金の観点を踏まえ、今後の改善に向けた協議の必要性和重要性を労使で認識し、しっかりと進めていく必要があると考える。労働組合としても人口動向や取り巻く環境、第4次産業革命への対応等、非常に厳しい金融環境の中、東北労働金庫が第6期中期経営計画の中で、しっかりと勤労者への役割を發揮するために、すべての職員の知恵と力を結集し、全役職員が同じベクトルのなかですべてのことに取り組む必要があると認識している」等を表明しました。

単組は、①最低賃金の引き上げに応える姿勢を交渉期間の早い段階で示したこと、②基本賃金について、満額ではないものの全雇用形態で要求に応えたこと、③一時金について、要求主旨や職場実態・職員の頑張りを踏まえ、大きく前進した回答が示されたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（10単組／3月27日18時10分現在）

長野・北海道(金庫・関連)・四国・沖縄・セントラル・近畿(金庫)・北陸
九州(金庫)・九州(関連)・中国(金庫)・中国(関連)・東北(金庫)

以 上